

週報 第3300回

会 長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹 事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



泉大津ロータリークラブ
Izumitsu Rotary Club

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumitsu-rc.org
ホームページ http://izumitsu-rc.org



今週の例会 (2025年7月25日) 第3300回

■ プログラム

卓話担当 櫻井 善章 会員
卓話講師 食育イベント企画「はなみずきYuu」
代表 中塚 由子 様
「食育を広めるために」地域の子育て支援活動について

■ 次週のプログラム

8月1日: クラブフォーラム
クラブ奉仕部門各委員長

■ 今後の予定

・8月8日: 卓話担当 高寺 壽 会員

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

それこそロータリー

今月の歌

知床旅情

知床の岬に はまなすの咲く頃
思い出しておくれ 俺達のことを
飲んで騒いで 丘に登れば
はるかクナシリに 白夜は明ける

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

先週の食事はうな重でした。おいしかったですね。明日は丑の日です。本日は、丑、ウナギについて話します。土用の丑の日といえば、一般的に夏の土用にある丑の日のことを指すと認識されています。しかし、実際のところ、土用の丑の日は一年を通して複数回あります。2025年の土用の丑の日は1月20日、2月1日、4月26日、7月19日、7月31日、10月23日、11月4日。そのうち・夏土用.....「一の丑」7月19日、「二の丑」7月31日です。

ウナギ(鰻、泉海魚、うなぎ)とは、ウナギ科ウナギ属に属する魚類の総称である。世界中の熱帯から温帯にかけて分布する。ニホンウナギ、オオウナギ、ヨーロッパウナ

ギ、アメリカウナギなど世界で19種類(うち食用となるのは4種類)が確認されています。

フウセンウナギやデンキウナギ、タウナギなど、外見は細長い体型をしていてウナギに似ている魚類には、分類学上では別のグループでもウナギの名を持つ種がある。一般的に淡水魚として知られているが、海で産卵・孵化を行い、淡水にさかのぼってくる「降河回遊(こうかかいゆう)」という生活形態をとる。

ウナギの養殖はまず、天然のシラスウナギを捕ることから始まる。黒潮に乗って日本沿岸にたどり着いたウナギの子供、シラスウナギを大量に漁獲してこれを育てるのである。養殖方法は、日本ではビニールハウスを利用した養殖が主流である。台湾と中華人民共和国南部の広東省では池を掘っただけの露地養殖。ハウス養殖は、ボイラーを焚いて水温を約30℃に保っており、成長を早めることができる。

日本のウナギ養殖(養鰻)は、1879年(明治12年)に東京深川で、殖産家である服部倉治郎によって初めて試みられた。

日本の養鰻の中心地となる浜名湖の養殖ウナギのルーツとなる。温暖な気候や地下水などウナギの生育に適した環境に加え、浜名湖や天竜川河口でシラスウナギが多く獲れたことが、この地で養鰻業が盛んになった理由とされている。その後、浜名湖周辺を中心とした静岡県遠州地方のほか、愛知県三河地方、高知県、徳島県、岐阜県、三重県中勢地方、鹿児島県、宮崎県などが主な生産地となっています。

全国の養殖ウナギ生産量は2019年で約17080トン。トップの鹿児島は約7090トンで40%強を占めます。2位の愛知が約4370トン、3位の宮崎が約3070トンで、4位の静岡が約1540トンと続きます。この上位4県で全国の90%以上の養殖ウナギを生産しています。なお、生産量はここ10年20000トン前後で推移しています。

香港産のニホンウナギの稚魚「シラスウナギ」を日本が2018年12月と19年1月に計約6トン輸入し、同じ期間に日本の養殖池に入れられた稚魚の約8割を占めていることが明らかになった。香港にはシラスウナギ漁の実態がなく、輸出を禁じる台湾から密輸された可能性が高いと指摘されている。

養殖ウナギの餌は、魚粉を主原料とした配合飼料です。この配合飼料に水を加えて練り、餅状にしたものを、ウナギに与えます。飼料メーカーから仕入れている餌は、魚粉に栄養剤やビタミン剤が加えられています。ウナギの性別は9割が雄で、雌は身が柔らかく脂がのり肉厚です。雄は大きくなると身が固くなります。大豆イソ

フラボンを一定期間与えると雄は雌になるとのことで、養殖では雌として大きく育てる傾向みたいです。ただし餌代、光熱費の増加が課題です。

さて、かば焼きですが、ご存じのとおり「関東風」は背開きにしてまず白焼きにし、蒸してからタレを付けて本焼きするものに対して、「関西風」は腹開きでそのままタレを付けて焼きます。20代後半でしたか、初めて東京でうな重をご馳走になった時、蒸した身の柔らかさに感銘を受けました。

生きたうなぎの全国の輸入数量は2018年に約8,820トンとなりました。その後は減少に転じ、2020年にはコロナ禍によるうなぎ専門店の休業・時短 営業や外出自粛などの影響により約5,440トンに落ち込んだものの、昨今はまた増加しています。シラスウナギの捕獲量が減れば、養殖の量が減ります。反対に生きたうなぎの輸入量が増えます。

生きたうなぎの2023年における輸入数量は約8700トン、輸入金額は約290億円で、どちらも中国が約89%の割合を占めており、2番目に多い台湾の約10%を大きく上回っています。

うなぎ調製品の2023年における輸入数量は約18000トン、輸入金額は約450億円で、これもどちらも中国からの輸入割合が約99%となっており、台湾は1%以下です。

ニホンウナギ(アンギラジャポニカ種)ですが、「絶滅危惧1B種」として国際自然保護連合(IUCN)のレッドリストに掲載され、「近い将来、野生での絶滅の危険性が高い」とされました。

それでは完全養殖は出来ないのか。

日本うなぎのウナギの完全養殖をめざす研究は古くから行われ、北海道大学が1973年に人工ふ化に成功、水産機構(当時独立行政法人水産総合研究センター)が2002年にシラスウナギまで育成し、2010年には完全養殖に成功しました。しかし、実用的なコストでの大量生産には至っていません。

近畿大学水産研究所では、天然資源に頼らない持続可能なウナギ養殖の実現をめざし、ウナギの完全養殖とシラスウナギまで安定して育てる技術の確立に取り組んでいます。

今年はシラスウナギが豊漁らしい(前年半期7トンが倍の14トン、秋ごろから成魚に)ですが、あまり値段を気にせず、おいしいうな重を腹いっぱい食べれる日が来ますように。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

和泉ロータリークラブ例会変更のご案内
8月6日(水)は8月7日(木)納涼例会
8月13日(水)はお盆のため休会
8月27日(水)は夜間例会

委員会報告

- 本日例会終了後、みやびの間にて委員会を開催しますので、関係者の方はご出席よろしくお願い致します。(山本 博章 親睦活動委員長)
- 本日例会終了後、くすのきの間にて第1回国際奉仕部門の合同委員会を行いますので、関係者の方はよろしくお願い致します。
(西田 佳郎 国際奉仕部門理事)

■ 出席報告 会員数40名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
7/18	33名	7名	—	82.50%
7/ 4	34名	6名	2名	90.00%

■ ビジター

冊 律子 様(大阪西南RC)

■ メークアップ

榎本(7/15 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
小野寺(7/18 親睦活動委員会)

■ ニコニコ箱

- ・みな様こんにちは。今日は寺田さんに40数年ぶりに再会出来て嬉しいです(冊様)
- ・本日 岡本会員、卓話よろしくお願いします(杉本)
- ・岡本会員、卓話よろしくお願いいたします(細川)
- ・岡本様、卓話よろしくお願いします(川崎)
- ・欠席のおわび(藤野)
- ・欠席のおわびです(寺田)
- ・例会欠席のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	21,500円
累計	45,500円

先週のプログラム ▶ 「結婚式の本当の意味 ～結婚したくなるお話～」



卓話担当 岡本 笑明 会員

本日は貴重なお時間をいただき本当に有難うございます。
ロータリークラブさんへ入会して、早2年が経ち、3年目に入りました。
今回初めての卓話ということで、私のジェットコースターのような人生はネタだらけでどの話をしようか考えましたが、はじめての卓話ですのでどん底のお話ではなく、美しい話をしたいと思い、「結婚式の本当の意味～結婚したくなるお話～」と題してお話させていただきます。ロータリーの皆様にとっては「今更？」と思わ

れるかもしれませんが、お子様やお孫様、また社員さんにも届けていただけたらと思います。
また、現在の日本の課題である少子高齢化の課題に少しでもお役に立てればと思います。

先日発表された2024年に生まれた赤ちゃんは、70万組を切り68万6061人となり、1899年の統計開始以来初めて70万人を割り込み過去最少と発表されました。もう私たちが高齢者になる頃には支えてくれる若者が減り大変な危機に陥ってきています。
更に婚姻数は50万組切って48万5063組となりました。
結婚する人が減ると、子どもを出産する人も減ります。国は子育て支援を様々してくれていますが、まずは、結婚する人から増やしていかなければ、少子化にも歯止めがかからないということです。ですが、メディアでは「結婚は墓場だ」とかネガティブな情報ばかり流れています。だからこそ数万組の結婚式を見てきた私だから、伝えられる結婚に対するポジティブな情報を届けたいと思っています。

まず自己紹介からさせていただきます。お仕事は3つしています。

結婚式のお仕事を38年間し、39年目に入ります。最初は披露宴でのエレクトーン奏者から始まり、チャペルのオルガニストから始まりました。

その後司会者になり、ウエディングプランナーになると同時に会社を立ち上げ現在25年目になります。

また10年前に資格を取り、ひとりひとりの個性の違いを分析して子育てのイライラや人間関係のイライラをワクワクに変える講演やセミナー活動を全国で行い、全国に仲間たちがいます。

更にここ泉大津市の市議会議員として3年目を迎えて泉大津市がより住みやすい街になるために日々活動しています。

平日は議員のお仕事、毎日夜はオンラインで四柱推命や個性心理学のセミナー、週末は市のイベントやウエディングのプロデュースや司会、講演会と365日充実して楽しく動き回り、全て本業として活動しています。

プライベートは30歳と28歳の娘家族と6歳と2歳になるお孫ちゃんに囲まれてしあわせです。さらにこの夏には長女に待望の子どもができて、3人目のばあばになります。

今はこんなに幸せで、ここに笑って立っていられますが、こんな日が来るとはイメージもできないほど、どん底の人生も経験しています。そのお話はまた機会あればぜひ聞いてください。

海外赴任が多かった父は海外からのお客様を自宅に招くことも多く、そんな父の想いと企みから、「日本の音楽を娘の生演奏でおもてなしたい」と、2歳からヤマハ音楽教室へ通わせてくれました。それがなければ今の私はいないと思います。そのおかげで、講師の資格も取り、子どもから大人までレッスンしていました。ウエディングの始まりは、披露宴でのエレクトーン演奏者として、デビューしたことからでした。

その後チャペルのオルガニストを14年間していました。

バブル絶頂期のときで週末は1日15～16組の婚礼があり、ベルトコンベアーに新郎新婦が流れてくるというようなイメージの流れが止まる事のないような結婚式を14年間努めていたとき、ふと「楽しくない!」「私じゃなくてもいくらでも代わりはいる」って思ふようになり、やめたいという気持ちが芽生えます。

でもやめるのは簡単、やめる前に自分の仕事である結

婚式の意味を調べてみよう!と思い、意味を徹底的に調べてみました。

実は、結婚式の仕事してるのに意味を全く知りませんでした。

なぜバージンロードを歩くのか、なぜ花嫁はベールをつけるのか、結婚指輪はなぜ左手の薬指にするのかなど。聖書を読んだり、牧師から学んだり、調べていくうちに、全部に意味があることがわかります。意味がわかると、次は「伝えたい!」という気持ちに変わっていききました。でも私のような、いちオルガニストはお客様と話をすることもできないのです。

ただ、間違えることなく無難にこなせばいい・・・それが私の仕事でした。

そんな私に30分というチャンスが目の前に与えられました。ずーっと途切れることなく続く結婚式の日々にたった30分だけ式と式が途切れた時間がある日がありました。

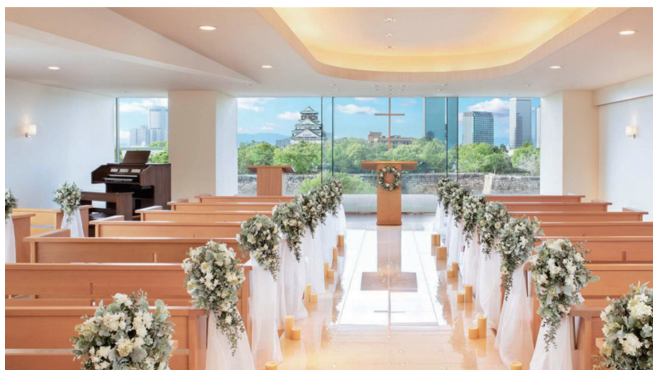
この30分の間にすぐに花嫁の控室に走り、結婚式の本当の意味を花嫁さんにお伝えしました。今振り返れば、この30分に行動していなければ、また今の私もいなかったと思います。

これから結婚を控えている方、また結婚式を挙げていない方はもちろん、お子様やお孫さん、また社員さんが結婚される時もあると思いますので、是非その際にお伝えいただけたらと思いますので、結婚式の本当の意味を少しお話させていただきます。

元々日本の結婚式は「人前式」という形でした。神様に誓うのではなく、家族や親族に結婚を報告し、誓うというスタイルです。その後、「西洋では神様に誓う式があるそうだ・・・」という情報が入り、後の大正天皇が明治時代に初めて神様の前で愛を誓う「神前式」を行い、そこから神前式が始まりました。

ですので、キリスト教式と神前式の流れはほぼ同じです。

バージンロードは歩んできた人生を表します。入場前はお母さんのお腹の中にいることを表し、扉が開くと誕生を表します。そして目の前に広がるのバージンロード自分が歩んできた人生。その先には運命の出会いをする彼が待っています。その運命の彼に大切な娘を託すまで、お父さんお母さんが大切に守っていくのです。



歩くとき、必ずお父さんや新郎は花嫁の右側に立ちます。



そして、右手に白いグローブを持ちます。これは、娘(花嫁)に何かあっても、左手で娘(花嫁)を守りながら、剣(白いグローブ)をかざして命がけで守りぬくという意味があります。



更に、万が一目の行き届かない時のために、「世界一美しい壁」と呼ばれるベールをお母さんの手で降ろしてもらい(ベールダウン)、目に見えない世界一美しい壁で守り、ご両親が大切に育みながら運命の彼にバトンタッチするまで守り抜くという意味がこめられています。

そして、お父さんにエスコートされながらウエディングステップ(1歩出してそろえて、また1歩出してそろえながら歩くスタイル)で歩きます。これはハイハイヨチヨチを表します。ゆっくりご両親との思い出を思い出しながら歩くバージンロード。



その3分の2の部分までお父さんと歩き、そこから新郎とバトンタッチの握手をします。

「大切に守ってきた娘を宜しく頼むよ!」という願いを込めて。

こうしてご両親に大切に守られながら、運命の彼に託すまでずっと守られてきたんだということを改めて感じていただくのが入場シーンなのです。

※神前式で挙式される方には、お父さんと歩かないので、披露宴の入場シーンでお父様と歩くことを、お勧めしています。

そして式は進み、神様やゲストに永遠の愛を誓います。その証として指輪の交換に進みます。



左手の薬指に流れている血管が一番多く心臓に運ばれていると言われていて、心臓=心なので、心に一番近い指が左手の薬指なのです。また、お互いの心にしっかりと手錠をはめる・・・という意味もあり、男性はとくに経験あるかもしれませんが、ちょっと下心出た時や、やましい環境になったとき、本能的に指輪をすーっと外した経験ありませんでしょうか？これは、本能的に取る行為で、心の輪っかを外すという行動だそうです・・・

永遠の愛を誓い、その証として指輪の交換も行った後は晴れて二人は夫婦となりますが、まだふたりの間には壁(ベール)が残っています。そこで、花嫁のベールを新郎が上げるのです。花嫁のベールをあげることができるのは、一生花嫁を守ると誓った花婿にしかでき

ません。

こんな結婚式の本当の意味を、30分の間に花嫁さんにお話したら、とても目をキラキラさせながら聞いてくれた花嫁から「すごく緊張していたのですがとても楽しみにになりました!」と言われました。

そして、挙式本番前、少しお父様がお席を外されたときに、私はとっさに

「お父さんの好きな音楽ありますか?」と聞いたんです。花嫁はすぐに「父はビートルズが大好きなんです!」と答えてくれました。

そこで、何を思ったか、私はその当時では絶対あり得なかった、結婚式の入場曲に、ビートルズの曲を演奏しようと決めました。

披露宴で演奏していたので、ほとんどの曲は演奏できたので、ビートルズの曲は何でも演奏できたのが幸いでした。

いよいよ本番。会場内の空気は緊張感でいっぱいです。

ホテルスタッフがドアの前に立ち、私に入場OKの合図をくれました。

いつもは入場曲=結婚行進曲と暗黙の了解でしたので、ホテルスタッフもいつも通りスタンバイしています。

そんな中、誰にも許可を得ず私の独断で、ビートルズの「ザ・ロングアンドワインディングロード」のイントロを演奏し始めました。会場内のホテルスタッフの焦りと怒りの表情は今も鮮明に覚えています。ドアマンはドアを開けるタイミングもわからないので、会場内はざわめいていますが、演奏しつづけ、目で合図をして何とかドアオープンしてもらいます。

すると・・・開いた瞬間のお父さんと花嫁を見て違和感を感じました。

ふたりの距離がとてもぎこちない距離で、本来なら幸せそうな笑顔であるはずのふたりの表情は下を向いて全然幸せそうではないのです。「この親子には何かあるのかも・・・」と思った瞬間、お父さんの耳に大好きなビートルズの音楽が聞こえたのでしょうか、お父さんが花嫁を見て「お前!知っとんたんか?」と聞いたら、下を向いていた花嫁が顔をあげお父さんを見て「うん!」と言った瞬間、お父さんが花嫁の腕をぐいっと自分に引き寄せました。

そのあと、ふたりの目から涙が溢れ続けました。私は14年間結婚式の仕事をしてきましたが、初めて魂が震えた一生忘れない瞬間でした。その後無事挙式は済み、「こんな仕事がしたい!」と私の心に芽生えた矢先、音楽事務所の社長から怒りの電話。ホテルからも散々叱られ・・・

そして、花嫁さんから呼ばれ恐る恐る行くと、花嫁、花婿、お父さんが並び私の顔を見るなり「岡本さん!ありがとうございます。実は私父のことが大嫌いだったんです。だから、絶対に父とバージンロードを歩かない!と決めていましたが、彼が一生のお願いだからお父さんと歩いてあげてと言われたので、しぶしぶ歩いたんです。でも、まさか岡本さんが父の大好きなビートルズを演奏してくれるなんて!!!父もまさか私が、好きな音楽を知ってたなんて思いもしなかったそうで、あの瞬間に父との絆が戻ったんです。初めて親子になれた気がします。本当にありがとうございました。」って言うてもらいました。

この1組の家族との出会いで、「魂が震える一組一組の家族に寄り添った結婚式がしたい!」と決め、会社にそのことを伝えましたが受け入れてもらえず、その日に会社を辞めました。

それから、この思いを受け入れてくれる音楽事務所はないかと色々探しましたが、できない理由しか言われず、それなら自分でそんな会社を作ろう!と25年前に会社を作り今に至ります。今も1組1組の家族やその背景に寄り添った唯一無二の1日を創っています。

もちろん一般的な結婚式もありますが、私のところを訪ねてくる案件はとても普通ではなくて、他で断られたり、高額な費用を言われたりして、自分達らしいウェディングを諦めかけたおふたりが、口コミで来てくださることが多く、余命10日の花婿の結婚式を大阪の北野病院でさせてもらったり、余命1か月のお母さんのための結婚式を北加賀屋の名村造船所跡地でさせてもらったり、駆け落ちしたご両親の50年越しの結婚式を京都の桂病院でさせてもらったり、招待状には集合時間と「すっぴんでお越しください」とだけ記載し、当日ゲストの名前が書かれた楽屋には当日着る衣装とプロのヘアメイクさんを準備した、必殺仕事人や科捜研の女の映画監督の息子さんの結婚式を太秦映画村でプロデュースしたり、様々なところで講話や講演をさせてもらううちに、「結婚が決まったら岡本さん

にプロデュースしてもらいたい」という方々も増え、ふたりを囲む環境や背景を伺って、おふたりにしかできない1日を創り心の残る結婚式を作ることを私のプロデュースの軸にしています。

そんな私は、38年間様々な人の結婚式のお手伝いをしてきて、人の結婚式のプロデュースばかり、友人の結婚式も必ず演奏か司会。

なんとか我が娘の結婚式だけでも、留袖着て両親席でゆっくり涙しながら食事をするの夢でしたが・・・結婚が決まった娘から「結婚式しない!」と告白され・・・結婚式屋の娘がしないなんて!!!と、結婚式することの意味を延々と伝え続けた結果。

娘から「結婚式するには条件がある」と言われ「おかあちゃまがプランナーで司会してくれるならやる」と・・・私の夢は一瞬で消えていきました(笑)となれば私の腕は鳴り、とことん今までにないウェディングを創って心に残る1日を全力で創ろうと決意し、新郎新婦に自ら受付に立たせ、そして披露宴の始まりは、M1の音楽とともに母と婿で漫才からのスタート!!

披露宴では新郎新婦のことをほめちぎるのが普通ですが、あえて娘の悪い所をいいまくり本当にこんな娘でいいのかを再確認。そして、必殺仕事人の音楽とともに、怒り狂った新婦が登場するという奇想天外な披露宴。

いつか娘の結婚式で袖を通そうと、留袖を新調してきましたが、もちろん袖を通す事もなく、娘の結婚式のプランナーと司会をするのは私以外いないのではないかなと思いつつ、結局一番走り回り、席もない花嫁の母は前代未聞だったのではないかなと思います。

ですが「今までで最高の結婚式だった!」と親族や仲間の中で未だに話題になるそうです。

みんなお金と時間を作って参列してくれるからこそ、記憶に残る1日を創ることが私のウェディングプロデュースの基本です。

そして、ここ泉大津でもウェディングで更に町を盛り上げたいと思い、シーパspark Openのときに結婚式をさせていただき、子どもたちから高齢者まで市民の方々に祝福される結婚式をしました。

花嫁さんをみるだけで、自然と笑顔になりますし、全く

知らない人からでも、「おめでとう!」って遠慮なく声をかけてもらえます。「おめでとう!」の数がふたりの幸せの数にもつながるという言い伝えもあるからこそ、たくさんの人に「おめでとう」と言ってもらえる日にしたいと思っています。

更に、昨年Openした、シーパspark内のレストラン「ガブグリーンワーク」でウェディングをスタートします。すでにお問合わせもいただき、ご予約もいただいています。



「結婚は墓場」などとネガティブなイメージの情報が溢れる中、結婚することの大切さを発信し、泉大津で週末にはいつも花嫁さんがどこかで見ることができたら、子どもたちにも「いつかあんな花嫁さんになりたい!」と夢と希望を持ってもらうことができると信じています。結婚することの大切さを届け、時間はかかるかもしれませんが少子化の課題解決のお役に立てれば嬉しいです。

ご清聴ありがとうございました。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか